



◀冬の海岸線 タスキをつないで

笠岡の冬の風物詩「カブトガニ駅伝大会」が12月19日、笠岡工業高校を発着点として開催されました。中学生・高校生・一般の部で約60チームが参加した今大会、沿道からの「がんばれ！」の声援を受けて、ランナーたちは肌寒い冬空をもろともせず、額ににじむ汗を輝かせながらタスキをつなぎました。

かさおか
ウオッチング
photo

12月9日、大島小学校で毎年恒例のしめ縄づくりが6年生とその保護者を対象に行われました。

まず最初に、公民館などでワラ細工を教えている仁科静江さんと斎藤淑子さんが講師となり作り方を指導。その後、親子が協力してしめ縄を作り始めました。三宅沙織さんとお母さんの弘子さんは、共に初めてのしめ縄づくりで「しめ縄をなうところが一番難しかった。でも、初めてにしては上手にできたと思う。ひとつはおばあちゃんのお家へ持って行きます。」と笑顔で答えてくださいました。

▶しめ縄づくり挑戦



◀一生懸命作ったカレンダー、

大事に使ってね！

11月30日と12月3日、真鍋島小学校の伝統「ふるさとカレンダー」の配布が行われました。

このカレンダーは、1枚に2カ月分が入っていて表紙を合わせて7枚綴り。それぞれのページには島の風景や建物のほか市のさかな「シャコ」が版画で描かれ、7人の児童全員で題材選びから版画作製までを行いました。

島の高齢者の家を回った児童たちは、自分の作った絵の説明をして、学校で栽培した菊と一緒に手渡していました。



11月26日、市と県は満百歳の誕生日を迎えられた櫛田堅太さん（西大島）を訪問し、お祝いに羽毛布団と吉備焼のつぼを贈りました。

この日は、くす玉も用意されており、それを櫛田さん自らの手で割ると、家族や関係者から拍手が湧き起こり、「これもひとえに皆さんのおかげ」とにっこりと笑っていました。櫛田さんの長寿の秘訣は、「温かくて体によいものを食べること」だそうです。

櫛田さん、いつまでもお元気でいてください。

▶百歳おめでとう

